

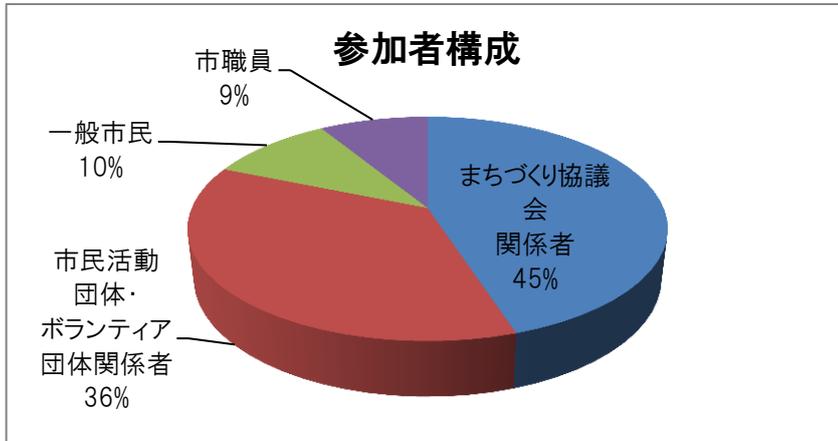
## 第2回 協働のまちづくりフォーラム アンケート結果

- 事業名** 市制施行 80 周年記念 第2回 協働のまちづくりフォーラム
- 開催日時** 平成 29 年 2 月 26 日(日) **会場** 高山市民文化会館 3-11 講堂
- 参加人数** 124人
- プログラム**
1. 市民憲章朗唱
  2. 主催者あいさつ
  3. 「NPO法人 まちづくりスポットの活動紹介」  
発表者：NPO法人 まちづくりスポット 経営管理マネージャー 谷前久美子 氏
  4. 市民活動団体から「地域課題に対して地域と一緒に取り組めること」の提案  
※ファシリテーター：NPO法人 まちづくりスポット 代表理事 竹内ゆみ子 氏
    - (1) NPO法人 飛騨高山わらべうたの会 (子どもの健全育成を図る活動)  
提案内容：わらべうた出張講座やワークショップ・企業開拓やプログラム作成などのコーディネート・イベント時のこども縁日の併設や託児・イベント企画への協力  
発表者：代表 岩塚 久案子 氏
    - (2) 認定NPO法人 あんきや (保健、医療又は福祉の増進を図る活動)  
提案内容：自家用有償運送(福祉・交通空白地)・退職者の活躍・活動の場づくり  
発表者：代表 蒲池 龍之助 氏
    - (3) 高山市民防災研究会 (地域安全活動)  
提案内容：各まちづくり協議会の防災行事の企画運営への協力・出前講座  
発表者：防災士 小山 順子 氏
  5. 市民活動団体の展示パネルによる活動紹介  
展示団体：NPO法人 まちづくりスポット  
認定NPO法人 あんきや  
NPO法人 プラマ・クマリス 高山ピースパレス  
NPO法人 活 エネルギーアカデミー  
NPO法人 高山おもちゃ病院  
もふっこひだ  
飛騨高山整膚癒しの会 相合愛  
アニマルレスキュー飛騨
  6. 花里まちづくり協議会の協働事例発表「防災ひろば in 花里小」  
発表者：花里まちづくり協議会 環境安全部 部長 塩谷 雅 氏
  7. 講演「大学連携と協働のまちづくり」  
講師：高山市大学連携アドバイザー 六角 裕治 氏

アンケート結果(参加者 124 名うちアンケート回収数 80 件・回収率 64.5%)

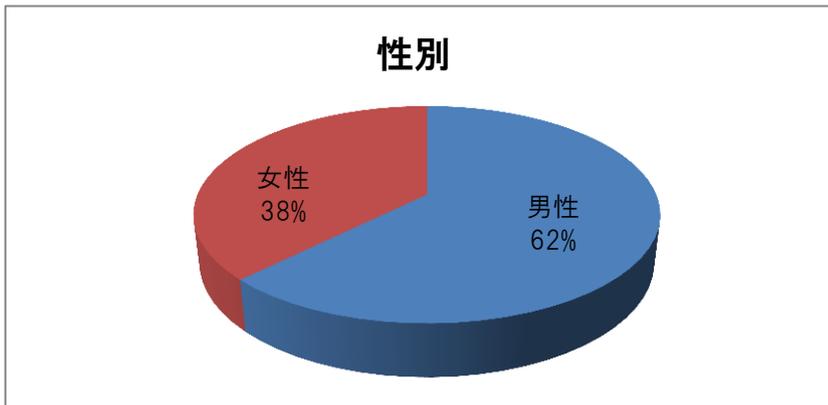
- ① アンケート回答者の構成(まち協・市民活動団体兼任者はまち協へカウント・その他の選択者や報道は一般市民へカウント)

まち協：36名 市民活動団体：29名 一般市民：8名 職員：7名



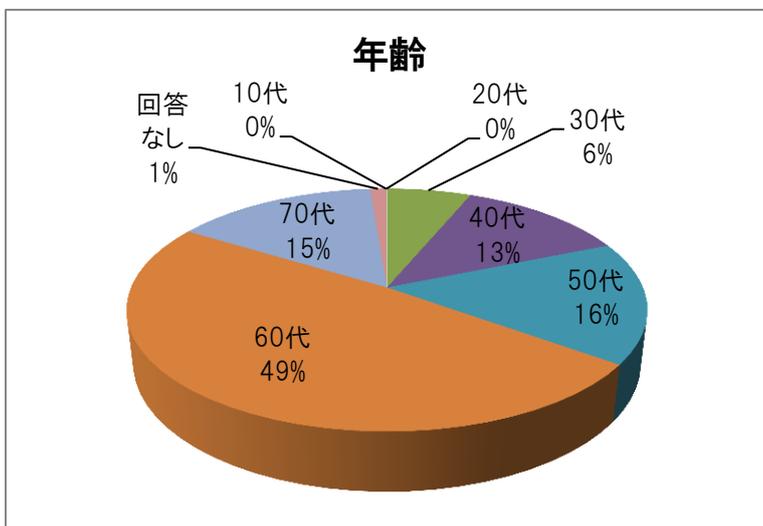
- ② 回答者の性別

男性：50名 女性：30名



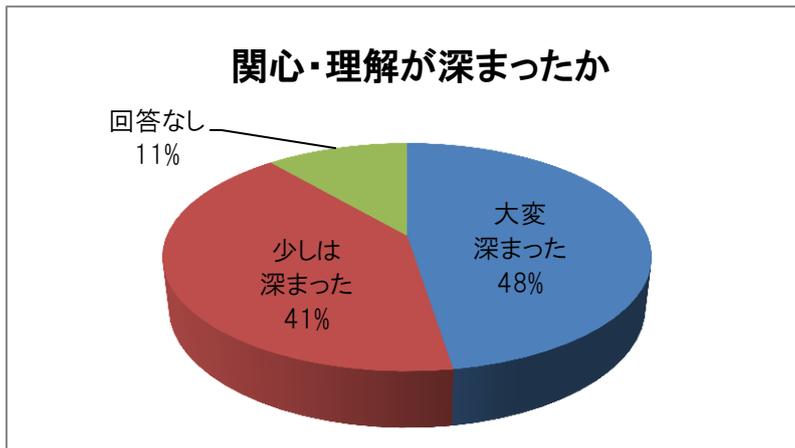
- ③ 回答者の年代

10・20代：0名 30代：5名 40代：10名 50代：13名 60代：39名 70代：12名  
回答なし：1名



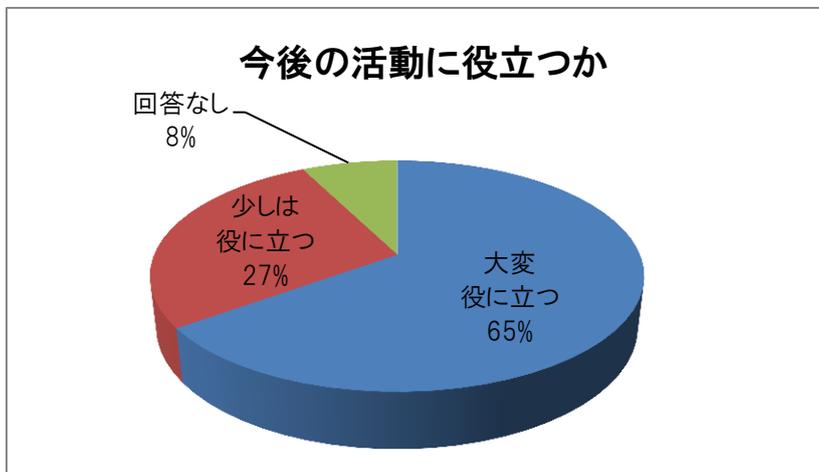
④ 協働についての関心や理解は深まったか

大変深まった：38名 少しは深まった：33名 回答なし：9名



⑤ 今回のフォーラムは今後に役立つ内容だったか

大変役立つ：52名 少しは役立つ：22名 回答なし：6名



役立つ内容だった理由

- 学校とまち協の連携が良かった
- 皆さんの活動がよくわかった
- 「まち協」という名前を聞きなれてきたところ/高山には大小のNPOがある/小さな活動をしている者もまち協は助けてくれるとわかった/様々な団体と協力し合うことですごいことができると思った
- 活動内容を詳しく知ることができ「～ができます」という提案がわかり易く協働のイメージがわいた
- 専門の人の知恵を借りて行うことで役員の負担を軽減できるし内容の濃い事業ができるのではと思う
- あんきやの発表「自家用有償運送」が役立った/私の住む荘川でも今後考えていきたい/あんきやへ行き詳細を聞きたいと思う
- まち協とは何かよくわかった
- 自分たちの会の活動を知っていただけ/他のまち協などの活動がよくわかった
- NPOの方々が努力していることがよく分かった/まち協とどんな点で協働できるか考えてみたいと思う
- 資料に連絡先があるので連絡すると思うがよろしく
- 皆様の活動が素晴らしくとても刺激になった/ありがとう
- 高山市民防災研究会の話が分かり易く今後の生活に大切だと思った
- 各NPOの方々は素晴らしい活動をしているので地域の方々に説明しご指導・ご相談をさせていただきたいと思う
- 機会があれば利用させていただきたいと思う
- 市民活動団体の活動が概ねわかった/高い志をもって活動されていることに敬服する/協働できる点があれば協働し地域の皆さんにとってよりダイナミックなものになっていくことを期待する

- ・市民活動団体の活動内容の理解が深まった
- ・活発な活動に対する意見交換でどのように協働していくのかというところまで参考になった
- ・各団体の活動を詳しく知ることで今後課題が見えてきたときの相談先がわかり大変役立った
- ・まち協は設立2年目で手探り状態のため協働事例発表をしていただくことは今後まち協としての方針を立てることに参考になった
- ・今後の活動の普及にあたりまちスポへ相談へ行きたいと思った/様々な団体と協働していきたいと考えてる
- ・まち協は自分たちの力で何とかしようと考えがちだが地域外の力や行政の力を大いに活用すべきだと思った
- ・防災研修を学校全体で行うことは意義深いことと改めて理解した
- ・実際にできるかどうかは別だがNPOなどに相談したり一緒にやってもらうことが可能だとわかった
- ・それぞれの発表が今後のまち協の活動の参考になると思った
- ・大変有意義なフォーラムだった
- ・他団体の活動内容がわかり役に立った
- ・様々な団体や事業を組み合わせるとすごいものができる気がした
- ・まちづくりの活動に是非取り入れてみたい内容があった/NPOなどの活動に対する知識が深まった
- ・今回の発表団体とまち協がどう連携していくかが今後の課題だと思う
- ・実際にどのような支援ができるかの具体的な提案が示されていてよかった・子ども・高齢者・障がい者などの対象別、総合的な支援、災害時対応など多角的な内容でとても参考になった
- ・防災について考えていたため相談してみることにする
- ・知らないことばかりでまだ頭の整理がつかないが大変参考になった
- ・①あんきやの発表「元気に歳をとっていく」/福祉施策として空き家の活用・居場所づくり・移送サービスなど本来行政が取り組むことをNPOでやっており代表も高齢なのにすごい②家庭内D I G…面白い
- ・まち協が「～課題」に取り組む際「～」に長けている団体と協働・連携をしていけばいいということがよく分かった/地域課題解決型のまち協へすこしずつ移行していくためにもこれからのまち協事業にぜひ活かしていきたい
- ・大学連携について詳しく知りたい/直接相談に行く
- ・防災研究会の仕事内容をもっと具体的に示してほしい
- ・活動を広めるヒントになった
- ・まちスポ・わらべうたの会の活動内容はまち協の今後の活動を支援してもらえそうだった
- ・まち協自体がよくわからなかった(誰がどのように運営し何をするとところか)がどのように協働していくと良いかイメージがわいた
- ・まち協の意味と実際の取り組みが理解できた/大学との関わりは新しい関わり/まち協との関わりは地域創生の在り方のモデルだと感じた

## 自由な意見

- ・開催時間の短縮を希望
- ・もっと易しく解説してほしい/部屋が寒かった
- ・まち協についての先進地(まち協同様の活動を定着させている所)の話を知りたい
- ・一般の方が参加したり考える機会がもっとあるとよい
- ・どうすればもっと興味を持ってもらえるかを考える必要も感じる
- ・パネル展示で帰る人が多く残念/大学連携をもう少し詳しく聞きたかった
- ・様々なNPOなどと協働し合える時代なのだからまち協にもっと活躍してほしいと思った
- ・花里のように最初にやるのは本当に大変で凄いことだと思う
- ・(初参加だが)様々なスキルを持った団体の活動を聞き参考になった
- ・まち協の取り組みを知ることができた
- ・ボランティア活動をしているが横のつながりを広げていけるといいなと思った
- ・様々な活動を知ることにより協働のきっかけができ地域が発展していくことは確かだと思った
- ・このフォーラムは今後も続けてほしい
- ・各まち協から協働事例が発表し合えるよう自分も取り組んでいきたいと思う/大学連携もとても興味深い
- ・意義あるフォーラムだった/人を集める方法と役を引き受けてもらう方法(が知りたい)
- ・来年は多くの一般市民が参加できる工夫を(関心を持ってもらえる広報など)/多くの一般市民の参加が市全体のまちづくりに大いに役立つと思う
- ・本当に困ったことを解決できた事例紹介をしてほしい
- ・実際にこのように各方面で活動されていることに驚いた/大変参考になり有難かった

- 様々な取り組みをもっと知りたい/まち協で認知症カフェにも取り組んでほしい
- 毎年継続していくといいフォーラムである/皆様の活動や志に深く感動した
- まち協は現状でも事業で手一杯のため新しい事業を始めるには何かをやめなければいけないという面がある
- やれる人ややりたい人が中心になる形をとれば地域の中で広がりがなくなる心配があり町内会を通した全地域の活動が難しくなる/活動の継続も保証できるか…
- 各地区ごとの協働のまちづくり取り組みの状況発表
- 各団体のビジョンや頑張りを知ることができた
- まち協が少し身近になった気がする
- 今後各団体の力を借りたい
- 次回は市民活動団体とまち協担当者のワークショップ・協働の可能性をみんなで考える・コーディネートアドバイスなどを行い実践につなげてはどうか
- 若い人をひきつける何かが不足していると思う/高卒～30・40代をひきつけるいい事例発表があるとありがたい/高山に大学をとというのは一つの起爆剤になると思う
- 第1回・2回ともに参考になり役立だった/今後はまちづくりに対する人材育成や活動の成果をテーマにした内容も考えていただきたい
- 今回は団体(志援)→まち協(地縁)だったが次回はまち協→団体(まち協が協働事業を提案する)でまち協の発表を行うと刺激になるのでは
- 市内で活躍している素晴らしいNPOなどを紹介していただきたいと思う
- まち協についてもっと多くの市民ひとり一人に理解いただく必要がある
- 前回のフォーラム時よりも実際の活動に直結できる内容が多く満足した
- 花里の事例は素晴らしかった/まず「つながる・知る」ことが大切だと思った/それを活かせるよう頑張る
- このフォーラムを通じ様々な団体がつながっていくのを身近に感じられてとてもよかった
- 来年の計画は大体決まっているがそのイベントにちいさなことでも取り込んでいければいいなと思った/内容盛りだくさんで少し疲れた
- 他の市民活動団体についても知りたいと思った
- 勉強になった/協働事業は大切である/ありがとうございました